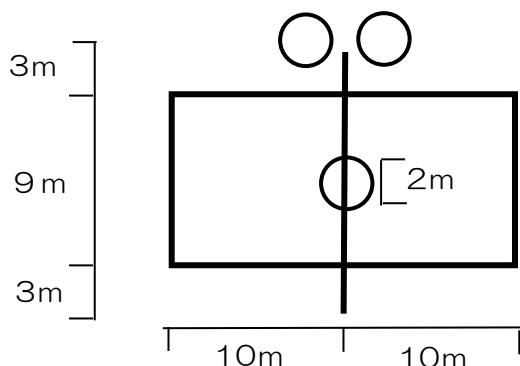


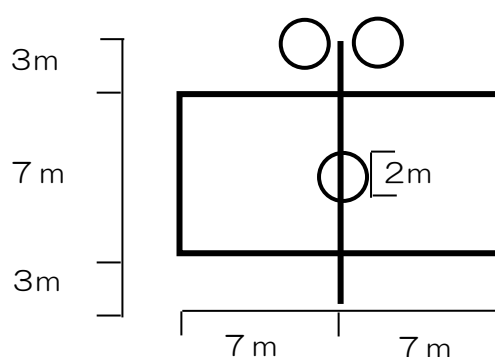
鹿沼市ドッジボール交流大会ルール

1. コート

3～6年生



1・2年生



2. 交流大会は、トーナメント戦またはリンク式とする。試合は正選手10名で行い、補欠はおおむね3名を認める。試合中に選手交代が必要なチームは、試合開始前に監督から審判に申し出ること。(選手交代は1回のみ。)複数チームに所属・出場することは禁止する。

3. コート集合時、選手の人数が少なくても集まっているメンバーで試合を開始し、メンバーのそろっているチームは10名で行う。後に集まったメンバーの加入は交代としてのみ承認する。

4. 試合は内野7人以内で開始する。外野に出る選手は、チームで自由に決めることができる。

5. 試合はコート中央でジャンプボールをして開始する(失敗はやり直し)。ジャンプボールをする選手は内野の選手とする。ジャンプボールをした選手に対し、内野からの1投目で攻撃をしてはならない。

6. 試合時間10分、1セットで行い、コート内残留人数により勝敗を決定する。一方が全滅したときは、その時点で試合を終了する。また、残留人数が同じ場合、3分間の延長戦を行う。それでも勝敗が決まらない場合は、代表5名によるジャンケンで勝敗を決める。

7. 相手の投球したボール(ノーバウンド)をキャッチできなかつたり、当てられたりしたときアウトになる。相手の投球したボールが頭部に当たった場合は、セーフとなる。(故意に顔面や頭部を狙って攻撃してはならない。)ただし、攻撃を受ける側が意図的に頭部などでボールを受けた場合はアウトとする。

(裏面に続く)

8. 一度の投球で2名以上続けて当てられた場合は、最初に当てられた選手のみアウトとする。アウトになった選手は速やかに外野に出る。ただし、相手の投球したボールが内野の選手に当たり、そのボールが空中にある間に味方の選手がキャッチした場合、セーフとなる。
9. ラインを踏んで投球したりラインを踏んでキャッチしたりしたときは、相手のボールになる。
10. 投球側が、ラインを踏んだり踏み越えて投球した場合は、そのボールをキャッチできなかつたり当てられたりしてもセーフとなる。
11. 相手コートにあるボールは相手ボールとする（手が届いても取ってはいけない）。
12. 相手内野選手をアウトにした外野選手は、内野に戻るができる。ただし、速やかに戻らない場合、内野に戻る意思がないものとみなす。
13. 試合の最初に外野に出ていた選手は、相手チームの選手をアウトにしないと内野に戻れない。
14. 外野に1人しかいない場合は、相手をアウトにしても内野に戻れない。
15. 内野の選手は、相手の攻撃をかわすために自分たちのコートから外に出てはいけない。
16. 外野選手がノータッチでボールを後方へそらしてもゲームは続行し、ボールの権利は最初に確保したチームにあるものとする。
17. 時間稼ぎのためのあからさまなボールパスは主審の判断により相手ボールになる場合がある。
18. 抗議は認めない。質問は、監督だけに認める。試合中や試合後に、審判や相手チームに対してヤジやクレーム行為があった場合は失格とする。